記入例

2027.1.31

(公財)鉄鋼環境基金 2025年度助成研究

終了報告書

(公財)鉄鋼環境基金
理事長殿

募集要綱の請書の規定により下記書類を添えて助成研究の終了報告をいたします。

記

1． 研究成果要旨
2． 研究成果概要書
3． 研究成果報告書

研究者	所属・役職	鉄鋼大学工学部金属工学科
	(ふりがな) 氏名	くろがね　　たろう 鉄　　太郎

1．区分	(○) 一般研究　　(　) 若手研究		2．研究期間	2年
3．研究テーマ	鉄鋼スラグの海洋利用に関する研究			
4．研究費	2025年度研究費総額：3,000千円 (内助成金額：1,500千円)			
5．連絡先及び連絡者	郵便番号	123-4567	住所	金属市鋼町3-4-5
	Ｔｅｌ	098-222-3333	E-mail	kurogane@tekkou.ac.jp
	所属・役職	鉄鋼大学工学部金属工学科　准教授		
	氏　名	鉄　太郎		

6．助成研究に関する学会等への発表・投稿について

①既発表　　助成研究開始以降のものを記載してください。

	表題	発表・投稿先学会等	公表年月
1	鉄鋼スラグからの栄養素溶出について	ＡＢＣ学会講演大会	2026.2
2	鉄鋼スラグの浄化機構について	ＤＥＦ協会シンポジューム	2026.7
3			
4			

②今後の発表予定

1	鉄鋼スラグの海洋利用における環境影響	ＧＨＩ学会論文誌	2027.4
2			
3			
4			

7．特許出願等の理由により成果報告書の公表時期を遅らせることを希望する場合は、希望日を記入すること。記入のない場合は、2027年4月1日にホームページ上で公表します。

公表希望日	2027年　6月　1日

(最大で、2028年4月1日まで遅らせることが可能ですが、公表時期が、2027年6月2日以降の場合は、2027年度の助成研究成果表彰の応募資格がなくなりますのでご注意下さい。)

8．助成研究に関わる特許等の出願について

既に出願した件数 (1件)	今後出願予定の件数 (1件)

本ページは、エクセルシート記載のものを転記しても、そのまま図としてコピーしてもいずれでも結構です。

実際に本明細内容の経理を担当された方で、問い合わせ時に回答できる方を記載ください。

9．2025 年度研究助成金の支払い明細書　　経理担当者名：　鉄鋼　次郎

（単位：千円）

費目	明細			助成金使用額
(1)機材・器具費	品名	用途		
				400
				200
				200
	計			800
	研究終了後の活用予定：〇〇〇〇〇〇の研究に利用			
(2)資材・材料・薬品費	品名	単価	数量	
	〇〇〇〇	50 千円/式	1 式	50
	〇〇試薬	10 千円/ℓ	10 ℓ	100
	〇〇ガス	1 千円/m^3	50 m^3	50
	計			200
(3)文献・資料の収集費	名称		件数	
	〇〇〇〇〇		20	100
	計			100
(4)人件費	作業内容	単価	人数×日数	
	〇〇試験	5 千円/人・日	1 人×10 日	50
	計			50
(5)旅費	出張目的	単価	回数	
	研究打ち合わせ	10 千円/回	5	50
	計			50
(6)経理処理経費	用途：大学の間接経費			200
(7)その他	項目			
	振り込み手数料			1
	〇〇運搬・分析費			49
	△△電力費（光熱費）			40
	通信・複写			10
	計			100
総合計				1,500

忘れずにご記入ください。

・適宜、行を挿入、削除してください。
・多品目にわたる場合、費目はある程度大括りにまとめて結構です。
・金額欄は四捨五入して千円単位で記入してください。

(6)には間接経費を記載してください。

※：集計欄の金額は、四捨五入して千円単位で記入して下さい。